

7

3D 施工

線形を利用して計測位置の計画横断形状を表示し、水平離れ・垂直離れ・鉛直離れを確認しながら、位置の誘導や丁張の設置などをおこないます。

7-1 点検・検査（線形利用）をおこなう

計測位置と計画横断形状、線形、変化点までの離れを確認します。

■ 点検・検査を起動します

- 1 ホーム画面の [3D施工] をタップします。

- 2 [点検・検査] をタップします。

- 3 観測する線形、構築形状など条件を設定します。

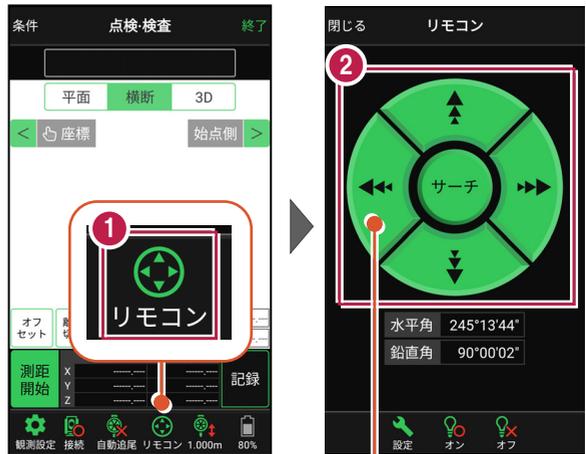
- 4 [点検・検査] をタップします。
点検・検査が起動します。



■プリズムをロックします（自動追尾の場合）

1 [リモコン] をタップします。

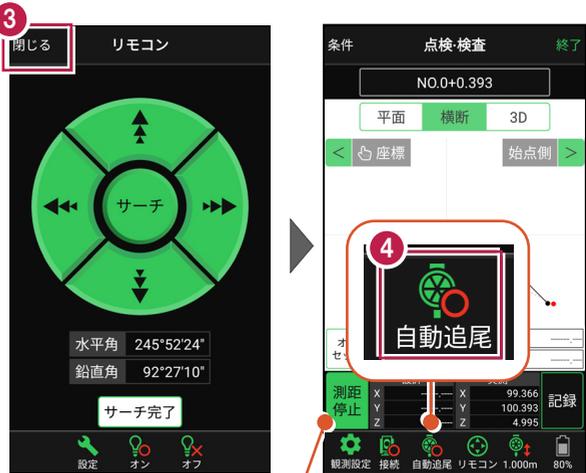
2 リモコンで器械をプリズムの方向に向けてから [サーチ] をタップします。



外側をタッチすると、早く動きます。
内側をタッチすると、ゆっくり動きます。

3 プリズムがロックされると「サーチ完了」と表示され、
[閉じる] をタップします。

4 プリズムがロックされ追尾中の場合は、自動追尾のアイコンに「○」が表示されます。



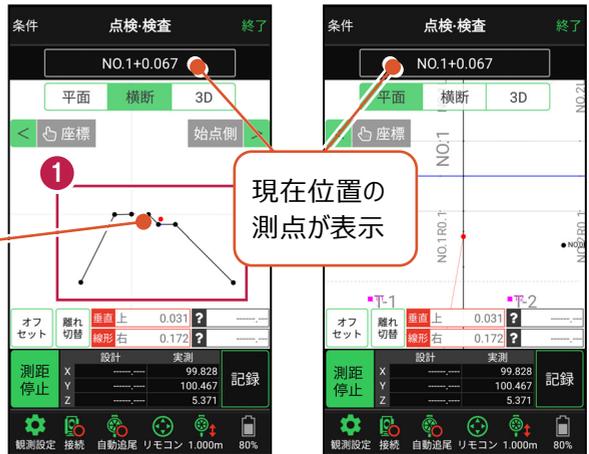
プリズムがロックされると自動で測距が開始されます。
測距を停止する場合は、[測距停止] タップします。
測距を再開する場合は、[測距開始] をタップします。

■ 現在位置と横断形状・線形との離れを確認します

- 1 現在位置の計画横断形状が表示されます。
また現在位置が赤丸で表示されます。

現在位置が「赤丸」で表示されます。

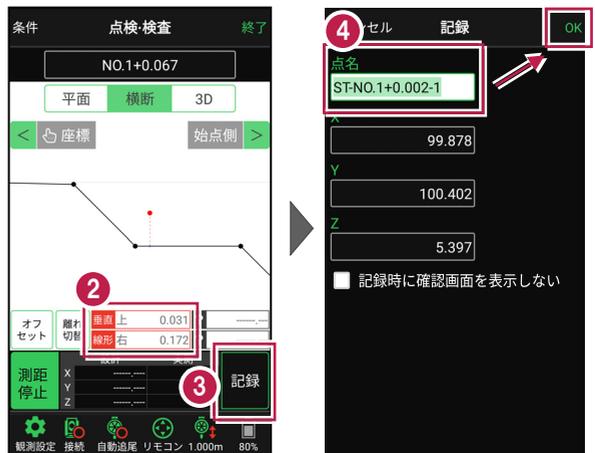
現在位置の測点が表示



自動視準の場合は

【リモコン】で器械をプリズム方向に向けてから【測距】をタップすると、自動視準して測定します。

- 2 計測位置に移動して、横断形状との「離れ」を確認します。
- 3 計測位置の座標を記録する場合は、【記録】をタップします。
- 4 【点名】を入力し、【OK】をタップします。



■ 変化点までの離れを確認します

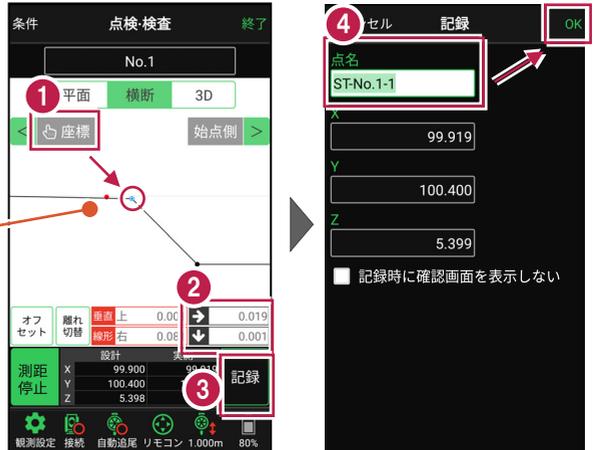
- 1 [座標] をタップして、確認先の変化点をタップします。

現在位置が「赤丸」で表示されます。

- 2 変化点までの離れが表示されます。

- 3 計測位置の座標を記録する場合は、[記録] をタップします。

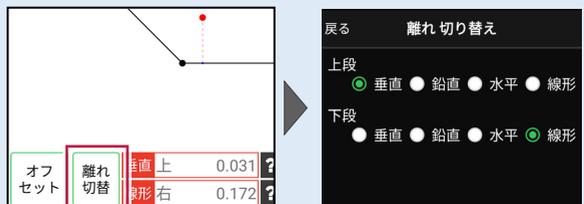
- 4 [点名] を入力し、[OK] をタップします。



※ プリズム（ミラー）の移動距離や目標点までの距離により、画面の更新頻度は適切に制御されます。

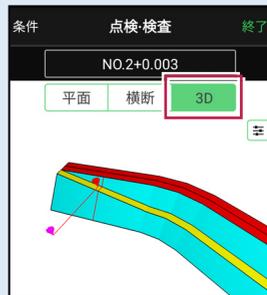
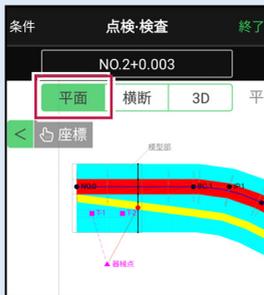
表示する「離れ」の種類を切り替えることができます

[離れ切替] をタップして、表示する「離れ」を選択します。



線形に付随する TIN データがある場合は

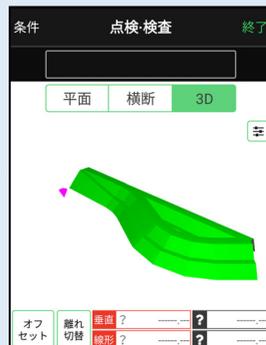
[平面] と [3D] で、
TINデータが確認できます。



設計面の TIN データを利用して点検・検査を行うことができます

線形に横断形状が無い場合でも設計面のTINデータがあれば、TINデータから横断形状を抽出して、点検・検査を行うことができます。

- 1 条件の「構築形状」で、「TINから作成する」を選択して、利用する TINデータを選択します。



- 2 計測をおこなうと、TINデータから横断形状が抽出され、設計面からの離れが確認できます。

